

目次

はじめに	2
第一章	
第一節 雲紙本と関戸本との関係(一)	8
第二節 雲紙本と関戸本との関係(二)	23
第三節 雲紙本に見られる別筆	47
第二章	
第一節 伊予切の書に関する一考察	62
第二節 伊予切の書―粘葉本との関係―(一)	81
第三節 伊予切の書―粘葉本との関係―(二)	106
第四節 近衛本の性格―粘葉本・伊予切との関係を中心に―	125
第五節 伊予切の性格―粘葉本との関係を中心に―	147
第六節 雲紙本・関戸本と粘葉本・伊予切との関係―形態面を中心に―	169
第三章	
第一節 安宅切の位置	198
第二節 卷子本の位置	218
第三節 葦手本の位置	238
第四節 戊辰切の位置	259
第五節 葦手本と戊辰切巻上の書	275
第六節 山城切の位置	298
第七節 久松切の位置	320
第八節 伝藤原行成筆大字切の位置	343
結びにかえて	354
既発表論文一覧	359
あとがき	361